

取扱説明書

棚 類

この度は、無印良品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この商品を末永く、安全にご使用頂くために、この「取扱説明書」をよく読み正しくご使用ください。
また、これらを保管し必要な時にお読みください。

目次

1. 棚の置き方
2. 使用上の注意
3. 保守・点検
4. 手入れ方法

お問い合わせ先

株式会社 **良品計画**

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

☎ 0120-14-6404

■平日 10:00~21:00

■土・日・祝 10:00~18:00

株式会社 **良品計画**

③ EXPLANATORY NOTE / SHELF & UNIT

1 棚の置き方

- ①地震などで棚が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・床・天井等に固定用金具や固定部材でしっかりと固定してください。又、棚の上（高所）に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。
- ②高温多湿の部屋での使用は避けてください。カビやダニの発生の原因になります。
- ③直射日光や熱・冷暖房機の強風などが直接あたらない様にしてください。
棚が変形、変色又火災の原因となることがあります。
- ④棚は水平を保つように置いてください。棚の変形やゆがみの原因となる事があります。
- ⑤床面がフローリングや畳などの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
床面のキズ防止になります。
- ⑥床面がクッションフロアの場合は、敷物などを敷いて使用してください。
木部の塗料と床面との反応による汚れ防止になります。

2 使用上の注意

- ①棚の上に立ったり、とんだり、踏み台代わりに使ったり、腰掛けたりしないでください。安定をくずし、倒れてケガをする事があります。
- ②引出しや引手の上に乗ったり、扉などに、ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。棚が倒れてケガをする事があります。
又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。
重心が前に移り転倒し、ケガをする事があります。
- ③引出しをいっぱい引き出すと、抜け落ちてケガをする場合があります。
- ④木材の接着剤等（ホルムアルデヒド）が残っている家具で、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす事がありますので、換気を十分にして（ホルムアルデヒドを）取り除く様にしてください。
- ⑤取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。
- ⑥棚を移動する場合は、落としたり、倒したりして、物を壊したりケガをする事がない様に、大人2人以上で両手でしっかりと持って運んでください。床面を引きずったり、押したりしないでください。床面のキズや破損の原因となる事があります。
- ⑦可動部のある棚は、その操作で手を挟んだりしない様に十分注意してください。
ケガをする事があります。

- ⑧突板やムク板使用の天板等に直接熱いものやぬれたものを置いたり、ビニール等で長時間おって使用しないでください。ムク板がそったり、突板や塗料が変色したり、はがれる事があります。
- ⑨棚板等の上に灰皿や食器等、底のザラついた物を直接置いて引きずったりすると傷がつくことがありますのでご注意ください。
- ⑩扉の開閉時には、扉の動く範囲に人がいないか、物が置かれていないか確認してください。
- ⑪電気製品等を収納する場合は、十分に隙間をあけて通気性をよくしてご使用ください。
電気製品の故障や火災の原因となります。
- ⑫ガラスを使用している棚は乱暴な取り扱いはしないでください。ガラスが割れてケガをする事があります。

3 保守・点検

- ①ネジ・金具類は、ゆるみやグッツキがないか時々点検し、ゆるみははじめたら、しっかり締めなおしてください。
ケガや破損、床面の傷の防止になります。
- ②虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。
放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

4 手入れ方法

- ①木部
 - 塗装面のホコリは柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリのあるままですると、こまかな傷が付いてかえって逆効果です。柔らかい布の空拭きだけで十分です。
 - 汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤液をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。
 - 化学ぞうきんを長い間接触させたまにしておくと、変色したり、表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。
- ②金属部
 - 毎日のお手入れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。
 - 汚れのひどい時は、中性洗剤を3~5%位にぬるま湯で薄め、柔らかい布を浸し、よく絞って拭き取ってください。そのあと水で浸した布で洗剤液をよく拭き取り、柔らかい乾いた布で軽く拭いたあと、自然乾燥させてください。最後に潤滑油を薄く塗り、柔らかい布で拭き取ってください。